

ヒロシマの追憶と飛翔 ～二つの交響曲HIROSHIMA～

フィンランドの作曲家、アールトネンが終戦後「焦土に立ち上がる広島を連想した」交響曲第2番
日本を代表する作曲家、團伊玖磨が戦後40年に「広島をテーマにした情景と詩に寄せた」交響曲第6番
二つの交響曲“HIROSHIMA”に込められた、祈りと未来への響き



©Masahide Sato

指揮 高関 健 Ken Takaseki

桐朋学園大学在学中の1977年にカラヤン指揮者コンクールジャパンで優勝。卒業後ベルリン・フィル・オーケストラ・アカデミーに留学し、カラヤンのアシスタントを務めた。

1981年にベルゲン響(現ベルゲン・フィル)を指揮してヨーロッパに、1985年日本フィル定期演奏会で日本にデビュー。その後もN響、ウィーン響、オスロ・フィル、デンマーク国立放送響、ベルリン・ドイツ響、クラングフォーラム・ウィーン、ケルン放送響など国内外のオーケストラに客演。1994年には群馬響ヨーロッパ公演を成功に導いた。

広島響音楽監督・常任指揮者、新日本フィル正指揮者、大阪センチュリー響常任指揮者、群馬響音楽監督などを務め、現在、札幌響正指揮者(2003年4月～)。

1996年6月に渡邊曉雄音楽基金音楽賞受賞。

ソプラノ 並河 寿美 Hisami Namikawa

大阪音楽大学卒業、同大学院オペラ研究室修了。兵庫県芸術奨励賞、神戸市文化奨励賞受賞。

オペラにおいては、これまでに様々なプロダクションに出演し、近年では兵庫県芸術文化センター『蝶々夫人』タイトルロールで高い評価を得た他、『アイダ』『トスカ』『トゥーランドット』等いずれもタイトルロールを演じ、びわ湖・神奈川県民・東京二期会『タンホイザー』ヴェーナス、13年日生劇場『フィデリオ』レオノーレ等で好評を博す。

コンサートでも「第九」をはじめ、「レクイエム」(ヴェルディ)「復活」「千人の交響曲」等数多く出演。

16年2月東京二期会「イル・トロヴァトーレ」レオノーラに出演予定。

大阪音楽大学准教授。二期会会員。



横笛 赤尾 三千子 Michiko Akao

国立音楽大学楽理学科卒。

在学中に、石井眞木作曲「遭遇II」の龍笛奏者としてアメリカ公演に参加、小沢征爾指揮、サンフランシスコ、フィラデルフィア管弦楽団と共演する。

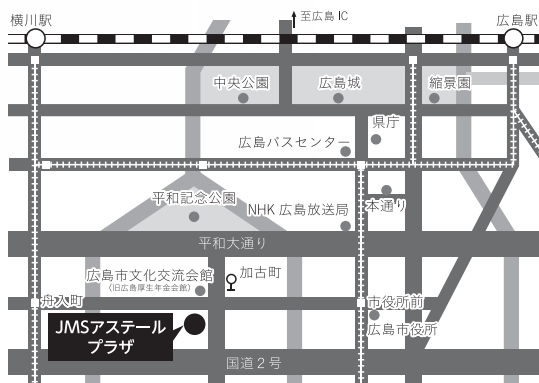
日本古来の横笛である龍笛、能管、篠笛の三種を独奏楽器として確立し、委嘱作品など100曲以上のレパートリーを作り上げる。

カーネギーホール、ベルリンフィルハーモニーザール、ウィーン楽友協会など、国内外での演奏は、高い評価を得ている。

2013年制作のCD「空華一息」はレコード芸術誌の特選盤に選ばれる。

芸術選奨文部大臣新人賞、中島健蔵音楽賞、日本文化芸術振興賞他、受賞。

交通のご案内



アクセス(JR広島駅から)

- 市内電車「広島港(紙屋町経由)」行きで、「市役所前」下車 徒歩8分、「江波」行きで、「舟入町」下車 徒歩5分
- 市内バス 広島バス「吉島営業所」行き、または「吉島病院」行きで、「加古町」下車 徒歩1分
- タクシー 約15分

※自家用車でのご来場はご遠慮ください。

お問い合わせ

JMSアステールプラザ

広島市中区加古町4-17

TEL:082-244-8000

<http://h-culture.jp>

